

1年間の3回ゼミをふりかえって：長谷川とゼミ生全員にとってのわかりあいと自己変革への険しき道―道半ばだが確かに前進した1年間。

教員とゼミ生全員が一体となって一つの研究テーマに荷を分かち合って取り組むことが大切である。

研究期間中は研究内容の交流はほとんどできなかった。
 研究期間中は研究内容の交流はほとんどできなかった。
 研究期間中は研究内容の交流はほとんどできなかった。
 研究期間中は研究内容の交流はほとんどできなかった。

一体化

大学の研究テーマが私の専門とかけ離れていたため、研究と教育を両立させるのが困難だった。
 大学の研究テーマが私の専門とかけ離れていたため、研究と教育を両立させるのが困難だった。
 大学の研究テーマが私の専門とかけ離れていたため、研究と教育を両立させるのが困難だった。

ゼミをシステムとして把握し分析し変革する必要がある。

「講義（係活動）を分析研究する方向を追求すべきだった。
 記録はできるようになったが、分析・変革は今後の課題。
 現状把握・分析・変革で言えば、なんとか分析まで到達しているのが現在のゼミか。
 活動の記録は何とかなるようになったが、それを分析し教訓化するまでには至っていない。
 システムとして把握する力が今だに弱く、システムそのものを大きく変えることができない。

長谷川の文書主義がゼミにおいて「文書は質より量」という傾向を生んだ。
 長谷川の文書主義がゼミにおいて「文書は質より量」という傾向を生んだ。
 長谷川の文書主義がゼミにおいて「文書は質より量」という傾向を生んだ。

「文書主義に陥ってしまい、それをゼミ生が文書主義ととらえて行動したかもしれない。
 文書主義に陥ってしまい、それをゼミ生が文書主義ととらえて行動したかもしれない。
 文書主義に陥ってしまい、それをゼミ生が文書主義ととらえて行動したかもしれない。

一体化

研究（班）と運営（班）を一体化することが大事。
 研究と運営を分離することにより、会議が多くなったのは、
 研究と運営を分離することにより、会議が多くなったのは、
 研究と運営を分離することにより、会議が多くなったのは、

記録・後片付け・ふりかえりが苦手。
 ゼミ生は後片付け（整理・保管）が苦手である。
 ゼミ生は後片付け（整理・保管）が苦手である。
 ゼミ生は後片付け（整理・保管）が苦手である。

苦手のトライアングル

自分たちが成し得たことに対して「ふりかえり」が、しみじみと味わう習慣と余裕が少ない。
 自分たちが成し得たことに対して「ふりかえり」が、しみじみと味わう習慣と余裕が少ない。
 自分たちが成し得たことに対して「ふりかえり」が、しみじみと味わう習慣と余裕が少ない。

学生には自らの活動の記録をとる習慣がない。
 学生には自らの活動の記録をとる習慣がない。
 学生には自らの活動の記録をとる習慣がない。

11月26日・12月9日の企画は工夫されていてgood!
 11月26日公開授業でのデジタルの活用など、私の提案を上回る工夫ができてよかった。
 11月26日公開授業でのデジタルの活用など、私の提案を上回る工夫ができてよかった。
 11月26日公開授業でのデジタルの活用など、私の提案を上回る工夫ができてよかった。

ゼミ（MLを含む）での議論ができるようになった。
 ゼミでこれまでほとんど発言できなかったゼミ生が積極的に発言するようになったのはすばらしい。
 ゼミでこれまでほとんど発言できなかったゼミ生が積極的に発言するようになったのはすばらしい。
 ゼミでこれまでほとんど発言できなかったゼミ生が積極的に発言するようになったのはすばらしい。

相乗効果
 メーリングリストでの議論ができるようになったのは前進である。
 ゼミでの司会（議事進行）は格段にうまくいった。
 ゼミでの司会（議事進行）は格段にうまくいった。
 ゼミでの司会（議事進行）は格段にうまくいった。

「目配り、心配りが人から言われなくても自然にできるようになった。ゼミ生がいることはゼミの誇りである。
 目配り、心配りが人から言われなくても自然にできるようになった。ゼミ生がいることはゼミの誇りである。
 目配り、心配りが人から言われなくても自然にできるようになった。ゼミ生がいることはゼミの誇りである。

たっぷりふりかえり、ゆっくりに着実に進めるゼミこそ、実りが多いはず。
 もっともたっぷりかえりの時間が欲しい。
 「ゆっくりに、かつ「着実に」進めることが、実りあるゼミにするために必要である。

ラベルワークのパワー・意味がまだまだ理解されていない。
 ラベルワークの威力・意味が理解されていない。
 ラベルワークの威力・意味が理解されていない。
 ラベルワークの威力・意味が理解されていない。

ゼミ生は学生参画授業をどれだけわかるうとし、どれだけわかっているのか？
 学生参画授業をどれだけゼミ生はわかるうとしているのか？
 学生参画授業をどれだけゼミ生はわかるうとしているのか？
 学生参画授業をどれだけゼミ生はわかるうとしているのか？

「私は何人のゼミ生と「わかりあい」ができていたのだろうか？
 私は何人のゼミ生と「わかりあい」ができていたのだろうか？
 私は何人のゼミ生と「わかりあい」ができていたのだろうか？
 私は何人のゼミ生と「わかりあい」ができていたのだろうか？

ゼミと生き方を重ねて成長を遂げるゼミ生は頼もしい限り。
 ゼミと生き方を重ねて成長を遂げるゼミ生は頼もしい限り。
 ゼミと生き方を重ねて成長を遂げるゼミ生は頼もしい限り。
 ゼミと生き方を重ねて成長を遂げるゼミ生は頼もしい限り。

「私に電話をかけてくれたら、「命懸け大丈夫ですか？」とまず尋ねてくれるようになったのは前進だ。
 私に電話をかけてくれたら、「命懸け大丈夫ですか？」とまず尋ねてくれるようになったのは前進だ。
 私に電話をかけてくれたら、「命懸け大丈夫ですか？」とまず尋ねてくれるようになったのは前進だ。

「手本となる企画書を見せたり、作りにまつり学生参画授業や参画授業をやってみせたりが必要だった。
 手本となる企画書を見せたり、作りにまつり学生参画授業や参画授業をやってみせたりが必要だった。
 手本となる企画書を見せたり、作りにまつり学生参画授業や参画授業をやってみせたりが必要だった。

長谷川とゼミ生とのコミュニケーションは前進しているが道半ば。
 キャッチボールをしようとしてゼミ生にボールを投げるがボールが返ってこない。
 キャッチボールをしようとしてゼミ生にボールを投げるがボールが返ってこない。

「ゼミ生からの質問（11月26日ゼミ）に対して回答したのに、何の反応もない。
 ゼミ生からの質問（11月26日ゼミ）に対して回答したのに、何の反応もない。
 ゼミ生からの質問（11月26日ゼミ）に対して回答したのに、何の反応もない。

「自分の考えたことを表現する力が弱い。
 自分の考えたことを表現する力が弱い。
 自分の考えたことを表現する力が弱い。
 自分の考えたことを表現する力が弱い。

「責任ある決定ができているのか？
 「自分には関係ない」と思うからなのか、決定は際どく考えずにテキパキと決める傾向がある。
 「責任ある決定ができているのか？」
 「自分には関係ない」と思うからなのか、決定は際どく考えずにテキパキと決める傾向がある。
 「責任ある決定ができているのか？」

「仕事をつくり込むことができずにやっつけ仕事になる。
 仕事をつくり込むことができずにやっつけ仕事になる。
 仕事をつくり込むことができずにやっつけ仕事になる。
 仕事をつくり込むことができずにやっつけ仕事になる。

「当事者意識に乏しく、わかっていないし、わかろうともしないゼミ生が未だにいる。
 未だに当事者意識の薄いゼミ生がいる。
 当事者意識に乏しく、わかっていないし、わかろうともしないゼミ生が未だにいる。
 未だに当事者意識の薄いゼミ生がいる。

「学生参画授業についてレクチャーや手本を示すことが必要だった。
 学生参画授業についてレクチャーや手本を示すことが必要だった。
 学生参画授業についてレクチャーや手本を示すことが必要だった。